

報道関係者 各位

2015年2月27日
公益財団法人日本デザイン振興会

グッドデザイン・メコンデザインセレクション 東南アジア企業と日本のデザイナーによる商品開発プロジェクトに着手

公益財団法人日本デザイン振興会と国際機関日本アセアンセンターの共催事業「グッドデザイン・メコンデザインセレクション」は、経済や産業の成長エリアとして国際的な注目を集めるメコン川流域4カ国(カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム)の企業と、日本のデザイナーのビジネスマッチングを通じて、国際市場競争力を備えたオリジナル性の高い商品開発支援をおこなう事業です。

グッドデザイン賞を受賞した国際的プレゼンスの高い現地企業の持つ「素材」や「技術」に対して、日本国内のデザイナーからのビジネス提案を公募、審査会による選考の結果、このほど12組の企業とデザイナーのマッチングが決定しました。

選出されたデザイナーは本年4月までに現地へ渡航し、各企業との商品開発を開始します。開発に際しては、各企業の技術や素材などを活かすことはもとより、現地の風土や文化、伝習などを尊重しながら、より国際競争力のある商品化をめざしていく協業姿勢が重視されます。

実現化した商品は、10月に東京で開催されるグッドデザイン賞受賞展にて展示するとともに、2016年2月開催の東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展し、販売受付を開始する予定です。

グッドデザイン・メコンデザインセレクション マッチング企業 × デザイナー

- [カンボジア] Watthan Artisans Cambodia × 小関隆一 (RKDS)
Khmer Artisanry × 二本木聡子
Villageworks Songkhem Co., Ltd. × 大嶋暁子 (Ao Design)
Cambodian Sedge Mats Business Association × 秋山かおり (STUDIO BYCOLOR)
- [ラオス] Houey Hong Vocational Training Center for Women × 出淵光一
Magic Lao Carpets Handicrafts × 中西香菜
- [ミャンマー] Bagan House × 佐々木里史 (東京藝術大学)
YK Collections × 佐野文彦 (studio PHENOMENON)
Link 64 Co., Ltd. × 猪飼俊介、竹井博秀 (ALBATRO DESIGN)
- [ベトナム] Vietnam Embroidery × 猪飼俊介、竹井博秀 (ALBATRO DESIGN)
Thai Hoa Fashion Textile Company × 矢内原充志 (STUDIO NIBROLL)
Hiep Hung Group Pte × 矢内原充志 (STUDIO NIBROLL)

公式ウェブサイト : <http://www.g-mark.org/guide/2014/mekong.html>

一般からのお問い合わせ先: 公益財団法人日本デザイン振興会 担当: 津村、鈴木
Tel. 03-6743-3777 Fax. 03-6743-3775 mekong@jdp.or.jp

報道関係のお問い合わせ先: 共同 PR 株式会社 担当: 宇津木、横山、中里
Tel. 03-3571-5238 Fax. 03-3571-5380

※ 商品画像は募集テーマとなった企業の素材・技術を示すもので、
デザイナーによる提案を示すものではありません。



Watthan Artisans Cambodia [カンボジア]

障がい者のための職業トレーニングセンターとして設立され、障がい者たちにより共同経営されている。伝統的な技法を用いながらもデザインや色は現代にマッチするものを開発している。布製品以外に木彫工芸品も扱っている。 <http://www.wac.khmerproducts.com>

New Project : カンボジア伝統織柄を活かしたプロダクトおよびブランド

Designer : 小関隆一 (RKDS)

多摩美術大学卒業後、喜多俊之氏に師事。2011年RKDS設立。ジャンルの境界を越えたデザイン、アートディレクションを国内外で行なう。多角的な視点での製品開発やブランド戦略、コンサルティングも手掛け、プロジェクトの本質的な魅力をシンプルに引き出す活動に取り組んでいる。 <http://www.ryukozeki.com>



Khmer Artisanry [カンボジア]

天然染料による染色と、名人だった祖母のクメール・シルク手織り、伝統柄のコットンスカーフなどを守るべく立ち上げられた。障がいを持つ女性や未亡人たちを雇用しカンボジア文化の復興と保存を目指している。 <http://www.khmerartisanry.com>

New Project : クメール織と伝統の天然素材を活かした立体的テキスタイル

Designer : 二本木聡子 (染織作家)

山形県鶴岡市出身。東京造形大学デザイン学科卒業後、蟻川紘直氏に師事。ホームスパンを中心に手織りの仕事を学ぶ。その後、女子美術大学名誉教授寺村祐子氏に師事。現在東京造形大学専任講師を務め作家活動と共に天然素材による染織研究をしている。日本民藝館展奨励賞、国展工芸部奨励賞、工芸部新人賞等受賞。



Villageworks Songkhem Co., Ltd. [カンボジア]

ハンディクラフトを通じ貧しい村人の生活を支えることを目的に設立された。ナチュラルコットンを使用し、伝統的なカンボジアの衣服を参考にしたデザインのカジュアルウェアやバッグなど現代生活との融合への挑戦をつづけている。 <http://www.villageworks.biz>

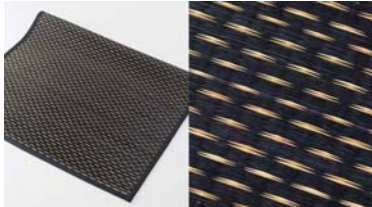
New Project : 少量オーダーにも対応するナチュラルコットンのユニフォームブランド

Designer : 大嶋暁子 (Ao Design)

多摩美術大学大学院修了後、化粧品メーカー等を経て、Ao Design 設立。パッケージデザインをはじめとして、グラフィックデザイナー、アートディレクターとして化粧品やトイレタリー製品の企画、商品開発、パッケージデザイン、販促、広告等、全般に関わる。 <http://www.aodesign.co>



※ 商品画像は募集テーマとなった企業の素材・技術を示すもので、
デザイナーによる提案を示すものではありません。



Cambodian Sedge Mats Business Association [カンボジア]

Kandal地方で採れるスゲを100%使用し、伝統的なパターンを織り込む。デザイン、色、サイズはオーダーに応じることができ、フロアマット、テーブルまわりのマット、スリッパなどの製品がある。

New Project : スゲと異素材をミックスした新しい商品開発

Designer : 秋山かおり (STUDIO BYCOLOR)

千葉大学卒業後、株式会社イトーキに入社。商品企画・ブランディング・デザイン・カラスキームに携わる。2013年オランダのSTUDIO SAMIRA BOON事務所を経て、STUDIO BYCOLOR設立。色が人に与える影響を追求し、素材や加工との関係性を効果的に使い、ブランディング全般から商品開発をおこなう。 <http://studiobycolor.com>



Houey Hong Vocational Training Center for Women [ラオス]

ラオスの恵まれない女性を対象に草木染め、手織り、縫製などの技術および独立企業の知識を自立できるレベルまで訓練している。ラオス原産の木を使った伝統的な紙を糸にして織物にする技術は、日本人技術者が指導した。 <http://www.houeyhongcentre.com>

New Project : 紙布素材を使った新しい素材と商品開発

Designer : 出淵光一

香川県生まれ。Center for Creative Studies of Detroit, Advertising Design科卒業。1996年idebuchi.comを設立。現在、穴吹デザインカレッジ非常勤講師、香川県情報発信参与(web)、JICA香川らしい国際協カプロジェクト「ラオスビエンチャン県バンビエン郡うちわ産業振興支援プログラム」プロジェクトマネージャーなどを勤める。



Magic Lao Carpets Handicrafts [ラオス]

ラオスの伝統的なシルク手織り技術を中央アジアにオリジンを持つカーペット織りへと展開。最近ではラオス原産の天然素材を使った草木染のシルクで織ったものなど、ラオス独自の製品づくりに意欲的に取り組んでいる。 <http://www.magiclaocarpets.com>

New Project : シルクカーペットの価値を高めるファッションアイテム、アクセサリ

Designer : 中西香菜

ドイツ、デュッセルドルフ生まれ。慶応義塾大学総合政策学部卒業後、コクヨ株式会社入社、文具や家具の商品企画開発をおこなう。2008年よりフィンランドのAalto University School of Art and Designへ留学の後、文具や家具、店舗やディスプレイデザインなど幅広くおこなっている。 <http://www.kananakanishi.com>



※ 商品画像は募集テーマとなった企業の素材・技術を示すもので、
デザイナーによる提案を示すものではありません。



Bagan House [ミャンマー]

バガンは古くから漆製品で知られている産地でその中でも著名な漆メーカー。大型の家具から食器類まで幅広く手がけている。ミャンマーの伝統的なモチーフのものを多く作っている。

<http://www.baganhouse.com>

New Project : 手の暖かみを残した重ねの美しさを持つ漆食器

Designer : 佐々木里史 (東京藝術大学)

埼玉県出身。東京藝術大学卒業後、オフィス家具メーカー勤務を経て、東京藝術大学デザイン科勤務。2013年デザインスタジオmodanico参画。家具デザインを中心に住居や店舗内装デザインをおこなう。



YK Collections [ミャンマー]

ミャンマーの伝統的なモチーフや素材を生かしたおみやげ品を製造しており、現在5つ星ホテル9ヶ所に店舗を持ち、工場は2ヶ所ある。顧客の要望に合わせたものづくりなどにも対応している。

<http://www.ykcollectionsmyanmar.com>

New Project : ミャンマーの文化と空気を伝えるコレクターズアイテム

Designer : 佐野文彦 (studio PHENOMENON)

奈良県生まれ。京都、中村外二工務店にて数寄屋大工として弟子入り。年季明け後、設計事務所などを経て、2011年佐野文彦studio PHENOMENONを設立。建築、インテリア、プロダクト、インスタレーション、ブランディング、職人としての製作などジャンルを問わない活動を続けている。 <http://fumihikosano.jp>



Link 64 Co., Ltd. [ミャンマー]

ミャンマー・アイデンティティをモチーフにしたデザインで、ミャンマー製にこだわった土産物を製造している。また、全製品をディスプレイし、そのままホテルのロビーやイベント会場などで販売できるようなワゴンも開発するなど販売方法の開発にも意欲的である。

New Project : ミャンマーの素材を活かしたステーションナリーおよびブランド

Designer : 猪飼俊介、竹井博秀 (ALBATRO DESIGN)

猪飼俊介 : ロンドン芸術大学を卒業、帰国後カイカイキキ有限会社にてアート作品制作等を経験し、2009年独立。グラフィックデザインを中心に幅広い製作活動を行なう。

竹井博秀 : ロンドン芸術大学を卒業、帰国後アパレル卸小売事業、海外事業を経験し、2014年独立。デザイン制作活動、アパレルコンサルタントを行なう。



※ 商品画像は募集テーマとなった企業の素材・技術を示すもので、
デザイナーによる提案を示すものではありません。



Vietnam Embroidery [ベトナム]

ベトナム刺繍によるベッドリネンやテーブルリネンなどホームファッションアイテムを幅広く手がけている。美しい色使いの丁寧な手作業に定評がある。 <http://www.vinaem.vn>

New Project : ベトナムの繊細な刺繍を活かしたファッションアイテムおよびブランド
Designer : 猪飼俊介、竹井博秀 (ALBATRO DESIGN)

猪飼俊介: ロンドン芸術大学を卒業、帰国後カイカイキキ有限会社にてアート作品制作等を経験し、2009年独立。グラフィックデザインを中心に幅広い製作活動を行なう。
竹井博秀: ロンドン芸術大学を卒業、帰国後アパレル卸小売事業、海外事業を経験し、2014年独立。デザイン制作活動、アパレルコンサルタントを行なう。



Thai Hoa Fashion Textile Company [ベトナム]

シルクのホームファッションアイテム、アパレルなどを手がけているほか、ベトナムで初めてのシルクニットの製造をしている。機械編み技術には定評があり、様々なニーズに対応が可能。

New Project : シルクのニット素材を活かした日用品
Designer : 矢内原充志 (STUDIO NIBROLL)



Hiep Hung Group Pte [ベトナム]

ベッドリネンを中心に製作している会社で欧米市場を中心にBellizenoというブランドで展開している。真綿のキルティング技術に特に定評がある。 <http://bellizeno.com.vn>

New Project : シルクの真綿キルティングを活かした日用品
Designer : 矢内原充志 (STUDIO NIBROLL)

桑沢デザイン研究所ドレスデザイン科卒業。パフォーミングアート集団「NIBROLL」に衣装兼アートディレクターとして参加し、東京を始め、フランス、ドイツ、アメリカなどの海外公演も行う。2001年、自らのブランドを「NIBROLL ABOUT STREET」と改め、東京コレクションに参加するなどブランド活動を本格化させる。 <http://www.nibroll.jp>

